

21世紀は「大阪パワー」で

かがり火

発行所
〒542-0065
大阪市中央区中寺1-1-54
大阪社会福祉指導センター内
大阪府社会福祉協議会
従事者部会
発行人 上利久芳

従事者部会長

上利 久芳



れています。

この困難にチャレンジするために、大阪の先人達が作りあげてきた「大阪パワー」をもう一度前面に出してがんばりませんか。「大阪パワー」とは「とりあえず、まあやってみよう」という大阪らしさであり、このことは換言すれば「民間が先ずやらなければ」という姿勢がベースになっていると思います。

時はついに、21世紀に入りました。しかし、今日の民間の施設従事者をめぐる状況は必ずしも「明るい」ものではありません。昭和48年頃からの「右肩あがり」の賃金形態の終焉（経済的基盤の弱体）に加え、最近言われる従事者自身の二次的ストレスの問題の台頭（心身的基盤の弱体）等深刻な問題に直面させられているのが実状であります。またその一方で利用者本位のサービスの提供という新しい課題への取り組みが要望さ

ましよう。

職場奮闘記

大阪自強館 甲子寮

辻岡 みゆき

私の職場は、西成区のあるいりん地区に隣接した大阪自強館本館内にある救護施設甲子寮です。

大阪自強館が運営している施設は、更生・救護・身障療護・特養・デイの11施設です。それぞれの施設は、利用者の状態・疾病が異なり、サービス内容にも特色があります。甲子寮は、成人男子の精神障害者の専門施設で、定員は110名です。精神分裂病の方が80%をし



従事者部会コーラス部は過去、現在、未来、いつも、いつまでも部員を募集続けています。歌がプロ級に上手な人、以前に声楽や音楽関係のサークルに所属していた人は勿論、単に歌好きという人、年に一回位のカラオケをする人、お掃除中

「コーラス部」

や風呂の中、仕事中にも鼻歌の出る人なんかいいですね。とにかく歌が大嫌いな人自他共に認められた大々音痴な人以外ならどなたでも歓迎します。

現在部員は14名。毎月2回（不定）仕事の後に谷七の指導センターに集まっています。時間は夜7時から8時半で、年2回の発表に向けて練習しています。曲は色々、今年の新任職員激励会では、花・花の「さよなら大好きな人」を歌う事になっています。この部で素晴

め、残りの20%の方も何らかの精神疾患を持っています。精神病院での治療が終わり、単独で社会生活が出来るよう、服薬の習慣づけ、生活習慣の確立、円滑な対人交流等、施設生活を通じて社会生活での自信の回復を図り、特に精神的な自立を目指す助言・援助を行っています。毎日の生活経験としての繰り返しを積み重ねますが自立段階に至るまでには相当の日数を要します。

私自身、平成12年12月に甲子寮へ異動したばかりであり、病気の理解等まだまだ解らない事が沢山ありますが、先日、節分の豆まき

（写真はその様子です。）のみんなの純粋な笑顔、アフターケア（通所・援助事業）に來られた単独生活を有意義に過ごしておられる元利用者の笑顔を見ると、私も利用者のペースに合わせて、一つ一つ頑張ろうと思っています。



従事者部会コーラス部

部員募集

心のささきを歌声に

コーラスは人生の栄養剤！
コーラスで文化しませんか！！

練習場所…大阪社会福祉指導センター
練習時間…PM7:00～PM8:30
会費…月3,000円

（毎年新任職員激励会出演）
（施設 慰問 多数）

お申し込み、お問い合わせ先：
あかつき特別養護老人ホーム
蛇草まで TEL (0727-22-3438)

新時代へ向けてのリーダー養成 集団指導者養成教室

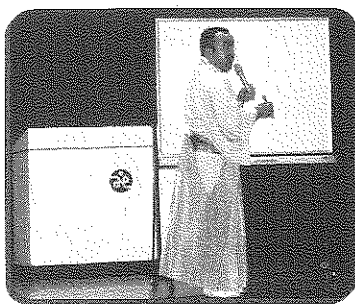
従事者部会常任委員会
調査研修委員長 岸田全玄

産経新聞、大阪新聞厚生文化事業団の助成を得て、年四回の集団指導者養成教室は、時代を意識した内容になって本年度も定員を上回る盛況ぶりであった。社会福祉の業種をこえた養成教室は全国でも珍しいものとされている。介護保健も導入され、多くの問題点も出てきています。児童虐待も大きな社会問題になってきています、我々従事者にとってもサービスの質の評価が問われています。今後も集団指導者養成教室が続くことを願っています。

第一回集団指導者養成教室

『演芸と現代社会』 ——こころのストレスを——

少し解消しませんか——
第一回集団指導者養成教室は、139名の参加者が集い盛大に開催されました。
午前中は、吉本興業所属の桂楽珍さんの講演でした。楽珍さんの講演は、忙しい日々を過ごしている参加者にとって、心がリフレッシュされる一時だったと思います。



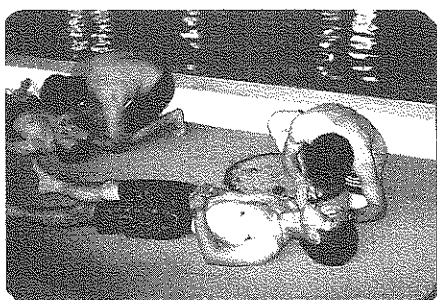
『ゲーム指導の実際と ゲームリーダーの演習』

午後からは、大阪府レクリエーション協会より宮崎良雄氏をお迎えして「ゲーム指導の実際とゲームリーダーの演習」を学びました。参加された先生方は早速施設に持ち帰り、楽しい室内レクリエーションやキャンプ等で活用されていることでしょう。



第二回集団指導者養成教室 『救急法と 水泳指導』

大阪ガスドームシテイースポーツセンターにて、八尾アスレチックセンターの池谷茂隆氏他3名の講師を招き開催を致しました。



午前中は、水際の事故・蘇生法等の講義を行い、午後からは、実際にプールにて実技指導を行う。実際に服を着たまま、入水することとはほとんどなく実際に体験するのは、初めてという人ばかりであった。また、水中で溺れている人の救助方法等実技を含めて詳しく説明をしていただきました。その後は、参加者全員にてグループに分かれて、水中での色々なゲームで楽しみました。

第三回集団指導者養成教室 『消防訓練』と 『普通救命講習』

今年も、受講希望者が殺到して、お断りする程であった。

昨年からは、1日研修として普通救命講習と消防訓練を半日ずつ受講してもらっている。

特に消防訓練については、施設においての安全性や、もしもの時に、どのような事があるのか等を体験して頂く中で参加された方々の施設における対策作りに役立つとうと喜ばれている。



この講座に対して、多くの皆様の申込があり参加して頂いておりますが、連絡なしで欠席される方が、増えてきております。欠席される場合は必ずご連絡ください。

第四回集団指導者養成教室 『人と接すること・ 人間の愛を考える』

国境なき医師団の活動から——
国境なき医師団日本事務局
古城 彰子



「国境なき医師団」を講演・スライドで活動を知り、言語や文化の壁を乗り越えての援助の実際という崇高な印象を持ちました。人間愛と表現できると思います。医師団の援助に実態を知り、自分自身の無力を感じました。また日々従事している対象者への理解への志しを強く感じさせられました。



『パソコンリテラシー トレーニングと コミュニケーション演習』

少々不安を持って研修に望みましたが、初対面の方々と輪の中に入って自分を理解すると言うことの難しさを知りました。

自分自身を知るといことはいかに大変な作業であるかを痛感しました。コミュニケーションを取るといった姿勢を日々忘れずにいたいと思いました。



これまで22年間長きに渡り利用させていただきました大阪ガスドームスポーツセンターが今年度を持って閉鎖となりました。いままでは大変お世話になりました、有り難う御座いました。

平成12年度集団指導者養成教室実施

回	期日	会場	科目および講師	参加者
1	6月15日(木)	大阪社会福祉指導センター	開講式 テーマ：『演芸と現代社会』 ～こころのストレスを少し解消しませんか～ 講師：落語家 桂 楽珍氏 テーマ：『ゲーム指導の実際』 講師：大阪府レクリエーション協会 派遣講師 宮崎良雄氏	139名
2	7月1日(土)	大阪ガス ドムシティ スポーツセンター	テーマ：『救急法と水泳指導』 講師：八尾アスレチックセンター 指導員3名	61名
3	10月16日(月)	大阪市 消防学校	テーマ：『消防訓練』と『普通救命講習』 講師：大阪市消防学校教官	112名
4	11月30日(木)	大阪社会福祉指導センター	テーマ：『人と接すること・ 人間の愛を考える』 ～国境なき医師団の活動から～ 講師：国境なき医師団 日本事務局 古城彰子氏 テーマ：『パーソナリティトレーニングと コミュニケーション演習』 講師：従事者部会長 上利久芳 従事者部会 常任員数名	82名

講師 桂 楽珍氏

吉本興業所属 落語家

桂 楽珍氏

講演の後、従事者部会長が
インタビュをしました。

部会長

研修という名のことで、

「演芸」の話を聞くことは
あまりありませんが、今日
の参加者は、少し堅かつ
たですか？

楽珍師匠

「まじめ過ぎるとか、堅
過ぎる」という印象はなかったです。ただ以外と若い人
が多かったと思いました。
最近、老人介護や児童虐待部会長
楽珍師匠自身の今後の社
会福祉との接点は？

楽珍師匠

「本職のお笑いを通して、
老人ホームなどを訪問する
ことで、少しでも喜んで
もらえたらと思っています。
小さな還元かもしれませんが、
地道に続けたいと考えて
います。」など、暗いニュースが多い
のに、今日の参加者を見て
みるとまだ世の中すてたも
のではないという印象を受
けました。」

民間社会福祉事業従事者共済会より

会員総数 23,699人 (男性 5,571人 女性 18,128人)
(A会員 22,831人 B会員 868人)
(市 6,176人 府 17,412人)

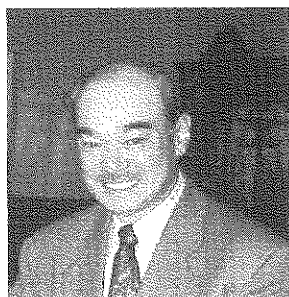
部会別 ※上段：総数／中断：男性／下段：女性

所管	保育	老人	成人・セルフ	児童	母子	その他
市	1,725人 0人	2,228人 0人	1,254人 0人	869人 0人	93人 0人	7人 0人
府	1,725人 0人	2,228人 0人	1,254人 0人	869人 0人	93人 0人	7人 0人
総数	5,631人 0人	7,284人 0人	2,339人 0人	2,129人 0人	29人 0人	7人 0人

在会年数別

在会年数	0	1	2	3	4	5	6
人数	1,558人	3,716人	3,077人	2,395人	1,974人	1,613人	1,196人
在会年数	7	8	9	10	11	12	13
人数	994人	808人	781人	615人	487人	365人	354人
在会年数	14	15	16	17	18	19	20
人数	355人	312人	327人	243人	253人	308人	271人
在会年数	21	22	23	24	25	26	27
人数	322人	242人	205人	156人	188人	158人	98人
在会年数	28	29	30	31	32	33	34
人数	63人	91人	51人	31人	20人	6人	8人
在会年数	35	36	37	38	39	40	41
人数	8人	8人	3人	7人	5人	5人	22人
在会年数	42	43	44	45	46	47	48年以上
人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

井上光さんを偲ぶ

る原動力になっていたのだ
と思います。福祉の業種を越え、仲間
意識を高め、ひいては、大
阪の福祉の発展を導いた功
績は、大きく、今思えば、
未熟な福祉の困難な時代に、
業種を越えた従事者部会で
培われた人脈が原点にあつ
たと感じます。井上さんには、いろんな
事を教えていただきました
が、印象に残るのは、「仲
間」と言う言葉をよく使わ
れていたことを思い出しま
す。それは、まさしく人間
関係(連帯感)を非常に大
事に考えられ、情の通い
合う仲間の輪を拡げ、強い
リーダーシップを発揮され
たします。

井上さんには、いろんな
事を教えていただきました
が、印象に残るのは、「仲
間」と言う言葉をよく使わ
れていたことを思い出しま
す。それは、まさしく人間
関係(連帯感)を非常に大
事に考えられ、情の通い
合う仲間の輪を拡げ、強い
リーダーシップを発揮され
たします。

(N・S)

従事者部会常任委員紹介 No.11

従事者部会常任委員は児童、老人、成人、セルフ、保育、母子施設の各部会から推薦される。

今回も各部会から3名の常任委員にご登場いただき、抱負や常任委員活動について語っていただいた。

泉南作業所

梅林 通代

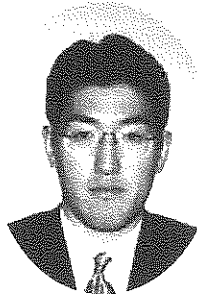


昨年から、常任委員の一員としてセルフ部会から参加指せて頂いております。従事者激励会、従事者体育祭のお手伝い、常任委員会の会議等、初めてのことはかなり緊張し、戸惑ってお

りますが、先輩諸先生方から一つ一つ丁寧に教えて頂き、うれしく思っております。行事では、たくさんの方が福祉の現場に携わっていることを実感する機会になつておりますし、会議では、他職種、他施設の状況を教えていただき、勉強させていただいております。

今後とも、福祉等の現場で働くもの同士、共に向上していけるこの会がさらに発展できるよう、私自身も努力致したいと思っております。

泉北若竹保育園 小谷 豊



一人でも多くの方に還元できるように頑張つて行きたいです。これからも部会での幅広い視野と考えを大切に社会福祉に貢献して行きたいと思ひます。

愛隣寮

安井 尚代



従事者部会常任委員としてはや3年目を迎えようとしております。

この間、施設の改築等で先輩の常任委員の方には大変ご迷惑をかけてしまいましたが、これからは常任委員として微力ながら活動させていただきます。部会で得た情報や意見交換で知った知識を

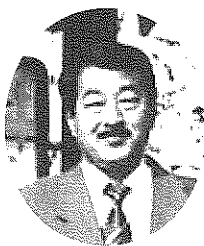
前任者の推薦があり、昨年4月に成人施設部会から従事者部会常任委員の一員となりました。

毎月の常任委員会に参加し、他業種施設の情報や動向を知ることができ、また府外研修や集団指導者養成教室などの手伝いを通じ、業種を越えた交流が行われています。常任委員会意見交換の発表にあたりた時は、様々な質問に答えられるよう資料を備えなおしたり、日頃の業務を改めて見返したりと、少々大変なところもありますが、私自身にとって良い勉強の機会だと思つています。昔と比べ、各部会からの常任委員が減つていくと聞き、今後更に増え色々な方々と共に、意見交換ができればと思つています。

副部会長の紹介

従事者部会副部会長2名をご紹介します。

老人施設部会より従事者部会副部会長になられたとりかい白鷺園の岸田全玄さんです。



とりかい白鷺園 岸田全玄

保育部会より従事者部会副部会長としてなられた大仙保育園の武田三恵さんです。



大仙保育園 武田三恵

☆保育部会 350施設

府下の、民間保育園を対象とした組織。

☆老人施設部会 325施設

府下の、特養・軽費・養護・ケアハウス・デイを対象とした組織。

☆成人施設部会 81施設

府下の、救護・更生・内部障害者更生・婦人保護・知的障害者更生施設等を対象とした組織。

☆児童施設部会 69施設

府下の、児童養護施設等を対象とした組織。

☆セルフ部会 72施設

府下の、授産施設を対象とした組織。

SELFとは、Sサポート(支援)、Eエンプロイメント(就労)、Lリビング(社会生活)、Pパーティシペーション(社会参加)の略。

☆母子施設部会 10施設

府下の、母子生活支援施設を対象とした組織。

☆医療施設部会 25施設

府下の、無料低額診療事業施設を対象とした組織。

平成12年度 従事者部会 常任委員

役 割	施 設 名	氏 名
部 会 長	聖 家 族 の 家	上 利 久 芳
副部会長	大 仙 保 育 園	武 田 三 恵
副部会長	とりかい白鷺園	岸 田 全 玄
委員 長	若 江 学 院	竹 内 務 造
	レバノンホーム	池 永 浩 司
	年 輪	北 条 康 幸
	八尾母子ホーム	今 井 正 幸
	甲 子 寮	辻 岡 みゆき
	生 駒 学 園	竹 田 功 弘
委員 長	愛 育 社	北 野 幸 宣
	くずは光の子保育園	石 田 正 隆
	高 津 学 園	松 本 幹 生
調 査 研 修 委 員	公 徳 学 園	山 田 祥 隆
	愛 隣 寮	安 井 尚 代
	岸 和 田 学 園	堀 健 一
	天 神 山 保 育 園	三 村 貞 子
	山 直 南 保 育 園	河 野 弘 美
	太 平 学 園	平 山 浩 靖
委員 長	泉 南 作 業 所	梅 林 通 代
	奈 佐 原 寮	上 一 彦
	四 天 王 寺 慈 田 院	大 橋 裕 寛
福 利 厚 生 委 員	三 ヶ 山 学 園	辻 坂 良 雄
	四 恩 学 園	吉 積 寛 昭
	一 乗 寺 学 園	市 橋 智 樹
	大阪西本願寺常照園	西 村 英 樹
	泉北若竹保育園	小 谷 豊
	健 康 の 里	北 島 康 生
	あ す か の 園	西 井 孝 宏